



# 五高新聞

1 2 月 号

12月6日(木曜日)

発行所 五島高校  
発行責任 五島高校新聞部  
編集 阿野優利 橋詰夕海  
橋本妃菜 松村萌花  
切江ひなた

## 五高新聞部よりお知らせ

五高新聞部は現在二年生五名で活動しています。国語が苦手でも大丈夫です。ぜひ、私たちが一緒に新聞活動してみませんか？  
平日の朝早くから、土曜日の午前中、日曜日の午後、お休みの日も、いつでも受け付けています。興味のある人は、ぜひ新聞部まで！



## コラム「城跡に思う」

冬服の完全移行も終了し、冬が近づいていることを感じずにはいられない日々が続いている。皆さんいかがお過ごしでしょうか。一日の寒暖差が激しく、体調管理に十分気をつけなければならぬ季節だ。

さて、先日、新天皇の即位を記念した祝賀パレードが執り行われた。多くの参観者が沿道に駆けつけ天皇の即位を祝う姿が、テレビや新聞・インターネットで報道された。パレードを開催するにあたり、手荷物検査が厳重に行われるなど、厳戒態勢がしかれたこともあり、何事もなくパレードは終わったようだ。

令和が始まり半年が過ぎ、社会情勢も変わった部分が多々ある。思いっくだけでも、令和が始まってから、甚大な被害をもたらした台風の上陸、消費税率の引き上げ、世界遺産である首里城の全焼、香港でのテロなど様々なことが起こっている。また、それに伴って、私たちの普段の生活も確実に変化していると感じる。新しい時代を生きる私たちには、激しい変化に適應していく能力が求められている。このような力を身につけることは容易ではないが、まずは目の前のある課題をしっかりとこなしつつ、私たちが生きる時代がどのように変化していくのか、注視することが大切だと思う。(橋本)

## 令和元年度 芸術鑑賞会

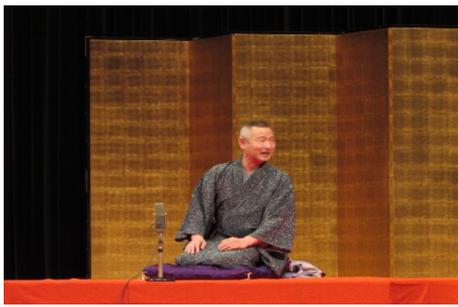
# 磨き抜かれた伝統の技を楽しむ

十一月十四日、福江文化会館にて芸術鑑賞会が行われた。桂文三さん、春風亭昇也さん、鏡味正二郎さんらが落語や曲芸などを披露した。

プロの語り口に最初は圧倒されていた生徒たちだったが、しばらくすると笑いが起き始め、最後には会場が大爆笑に包まれていた。話のあちこちに言葉遊びを散りばめたり、扇子を巧みに使ってそばをすする仕草を再現したりと、日本の古典芸能の高い技術を目の当たりにした。また、曲芸では、驚異的なバランス力を見せた鏡味さんに会場からは驚きの声がかこえた。体験コーナーでは本校生徒も舞台上に上がり、落語に挑戦した。



リズムよく語られる小噺



巧みなオチはプロの技



そばの汁を飲む仕草をする光富くん



落語に挑戦する佐々木さん



奇跡的なバランスの曲芸



傘を使った曲芸にチャレンジ！

## 五島高校を卒業された先生へのインタビュー

### 一一〇周年記念

五島高校の創立一一〇周年を記念して、前号に引き続き、五島高校の同窓生に話を伺った。今回は、現在五島高校に勤務されている谷川幸則先生にお話を聞いた。

新聞部) 在学中の楽しかった思い出は、何ですか。  
谷川先生) 陸上部での毎日の練習です。

毎日、中央公園まで歩いていきました。練習はともきつかったです。楽しかったです。  
新聞部) 在学中大変だったことは、何ですか。  
谷川先生) 数学の課題が多くて、提出が期限に間に合わせるのが大変でした。

新聞部) 今後、五島高校にどのような変化を望みますか。  
谷川先生) 数学の課題が多くて、提出が期限に間に合わせるのが大変でした。今後は、五島高校にどのような変化を望みますか。

谷川先生) いつまでも存在して欲しいです。当時はとてもつらく、「当時こんなところには絶対こない！」と思っていました。(笑)  
新聞部) 本当ですか。(笑)  
谷川先生) しかし、卒業してみても、時代のきつさがなかったら、今の自分はないかなと思うので、これからも厳しい五島高校であって欲しいです。

谷川先生) いつまでも存在して欲しいです。当時はとてもつらく、「当時こんなところには絶対こない！」と思っていました。(笑)  
新聞部) 本当ですか。(笑)  
谷川先生) しかし、卒業してみても、時代のきつさがなかったら、今の自分はないかなと思うので、これからも厳しい五島高校であって欲しいです。

新聞部) 谷川先生にとって、五島高校とはどのような場所ですか？  
谷川先生) そーですねえ・・・、ん・・・。青春時代のよりどころです。  
新聞部) では、最後に一言お願いします。  
谷川先生) 時代は少しずつ変化していくけれども、本質は変化していません。これからも五島高校にはこのまま残って欲しいです。また、高校時代の友達は一生涯の友達になるので大切にしてください。

新聞部) これ以上になります。今日はありがとうございました。



2年3組担任 谷川 幸則先生 (生物基礎)

文字の太さには深い意味が